

体育大会における集団行動実施後のクラスの変容

植田 佳樹 (生涯スポーツ学科 学校スポーツコース)

指導教員 森川 みえこ

キーワード：体育大会 集団行動 クラス変容

I. 緒言

現在、社会問題として、コミュニケーション能力の低下が挙げられている。コミュニケーション能力を「意思疎通」「協調性」「自己表現能力」の3つの指標で示されている。

そこで本研究では、体育大会で集団演技として集団行動を行うことにより、「決まり」や「約束」に従って集団で安全、能率的に行動する能力や態度を養うことが出来るを考える。また、クラスの統制がとれるようになり、生徒内でコミュニケーション能力の向上が期待できると考え、その実践の効果を明らかにすることを、本研究の目的とした。

II. 調査方法

1. 調査対象

私立0 高等学校スポーツ科学コースの男子各学年2 クラス編成、1 年生 47 名、2 年生 51 名、3 年生 54 名 計 152 名。

2. 調査内容

学級集団意識 (4 因子)、仲間づくりの成果 (5 因子) について質問紙アンケート調査を体育大会前、体育大会後、体育大会 58 日後にそれぞれ 3 回実施された。(回収率 92%)

III. 結果と考察

3. 学級集団意識について

「学習意欲」「人間関係」「活動性」「雰囲気」のうち3年生の1回目と3回目の「活動性」に有意差が認められた。他のカテゴリーにおいては、有意差は認められなかった。各学年、各回の平均値をみると1年次より2年次、2年次より3年次へとその平均値は増加の傾向にある。

表5 学級集団意識について

学年		学習意欲			人間関係			活動性			雰囲気		
		M	SD	T	M	SD	T	M	SD	T	M	SD	T
1年生	1回目	2.32	0.70		2.13	0.67		1.84	0.73		2.32	0.70	
	2回目	2.51	0.73	0.80	2.09	0.58	0.31	1.72	0.67	0.18	2.51	0.64	0.29
	3回目	2.44	0.67		2.04	0.67		1.70	0.68		2.44	0.67	
2年生	1回目	2.49	0.64		2.17	0.70		2.17	0.70		2.49	0.64	
	2回目	2.58	0.58	0.39	2.14	0.68	0.52	2.00	0.79	0.08	2.58	0.58	0.29
	3回目	2.59	0.59		2.13	0.62		2.07	0.79		2.59	0.59	
3年生	1回目	2.74	0.48		2.24	0.68		2.22	0.75		2.74	0.48	
	2回目	2.81	0.41	0.66	2.34	0.56	0.47	2.30	0.78	**	2.81	0.41	0.07
	3回目	2.87	0.36		2.29	0.59		2.51	0.65		2.87	0.36	

4. 仲間づくりの成果について

学年ごとの比較で行うと、1年生と3年生に大きく差が見られた。1年生は2年生、3年生に比べて平均点が2.5以上の項目が極端に少なかった。このことから、集団行動を行い、仲間づくりの成果を向上させるためには2、3年と継続して行う必要がある。

表6 仲間づくりの成果 平均

		仲間づくりの成果					平均
		課題達成	集団相違	相互作用	人間関係	学習意欲	
1年	1回目	2.37	2.17	2.28	2.13	2.21	2.23
	2回目	2.74	2.32	2.23	2.36	2.30	2.39
	3回目	2.63	2.40	2.43	2.39	2.41	2.45
2年	1回目	2.49	2.46	2.46	2.50	2.48	2.48
	2回目	2.75	2.49	2.46	2.64	2.55	2.58
	3回目	2.62	2.59	2.49	2.57	2.53	2.56
3年	1回目	2.77	2.69	2.62	2.75	2.68	2.70
	2回目	2.85	2.75	2.61	2.82	2.71	2.75
	3回目	2.83	2.85	2.74	2.85	2.80	2.81

IV. 結論

1 年生では効果が一過性であるが 2、3 年生とその成果は定着がみられる。

学級集団意識について、継続して行うことにより効果が得られると考えられる。またクラスにおいて仲間づくりの成果についても、1 年生より 2 年生、2 年生より 3 年生がより高い成果がみられた。このことから、継続することにより効果が得られると考えられる。

VI. 参考文献

- 1) 島喜八(1985)改訂版教師のための集団行動 教科図書事業部学研:2-3
- 2) 高橋健夫(2007)体育授業を観察評価する